

郡上八幡の地域資源 は町家と美しい町並

郡上八幡に初めて来たのは2009年の大学時代。下駄で踊る人々、町家の連なる美しい風景。町家に住んで商売をしている人々。日本の伝統建築が生きていて、文化度の高さ、センスに惚れ込みました。日本にまだこんなところがあるのだ！と衝撃を受けました。

その後、東京の設計事務所に勤務した後「日本の伝統建築を、次世代に、世界に伝える」を目標にスタジオ伝伝を立ち上げました。そんな折「郡上八幡で空き家が増え、町家が壊され駐車場になり、町並みが壊れてきている。それを何とかする人を募集する」ことを知って居ても立ってもいられず応募し、2015年から郡上八幡の空



櫂の音terraceにて
(スタジオ伝伝 藤沢百合)



八幡の町家にヒントを得た
「櫂の音terrace」(東京)

き家対策「チームまちや」の立ち上げに参加しました。空き家をオーナーさんから借り受け、下水工事や手直しを基金から出し、移住する人に貸し出すととてもいい仕組みでした。

郡上八幡に住み始めて驚いたことたくさんあります。飲み屋で「郡上の将来は！」と熱く語る人が多い。町中にコンビニやチェーン店がない。幹線道路が町中を分断していない。隣の事情がわかるので助け合いにつながっている。

雅な伝統芸能がたくさん残り、若い人も活動している。祭りがいっぱいと継承されている。頼母子文化、など。地元からすると当たり前かもしれませんが、外から来た人間から見ると、このコミュニティはとても強固で素晴らしい。ひょっとして、「町家」という家の形が重要なのではないのか？とい

う仮説が湧いてきました。

2年の任期が終わわり、郡上人の「なにか始めたい！」を設計で応援したいと思い、糸CAFEさんの裏をお借りし、事務所をオープンしました。郡上での設計の仕事が増える中、東京でも仕事の依頼がありました。

オーナーさんからの依頼は「入居者が互いに助け合えるコミュニティにしたい」それはまさに郡上八幡では!?と思い、東京のアパートに「町家の「前」でナリワイを行い、後ろで暮らす」を挿入したところ、郡上八幡と同じようなコミュニティが東京にも生まれました。この「櫂の音terrace」は国内外の多くの建築賞・町づくりの賞を受賞しました。町家の形がコミュニティと人間関係を作り上げているのだ、そんな仮説が実証された瞬間でした。5月号につづく。



櫂の音terrace
のホームページ



スタジオ伝伝の
ホームページ
(お問合せはこちら)

株式会社スタジオ伝伝
八幡町新町944別庵

info@den-den.co.jp

5月号から「郡上未来通信」が新コーナーに変わります



《お問合せ》
郡上市雇用対策協議会
☎67-1808



郡上にも 働く場がいっぱい！

郡上市雇用対策協議会では、これまで「郡上未来通信」にて高校生を中心とした採用についての情報をお届けしていましたが、5月号からは、市民のみならず、郡上を離れている人や学生とその保護者に向け、市内企業の魅力を紹介するコーナーへ変わります。5月号からの新コーナー「郡上で働こ！」では、知っているようで知らない市内企業の魅力をお届けします。郡上を離れている家族や友人にもぜひお知らせください。